

◇-----◇  
下水道の最新情報をお届けします！

発行日：2011. 10. 07

下水道機構の『新技術情報』 第16号

(財) 下水道新技術推進機構 <http://www.jiwet.or.jp/>

◇-----◇

『食欲の秋』到来で体重が気になる今日この頃。通勤をハイヒールからスニーカーに履き替えてみたところ、適度な運動でますます食事が美味しく感じられるようになりました。良いんだか悪いんだか(-\_-)

さて、今週も機構メールマガジン『新技術情報』第16号をお届けします。業務に、Tea Breakにご活用ください。

■□■□トピックス□■□■

★インフォメーション

・「下水汚泥のエネルギー化技術について」をテーマに、第55回下水道新技術セミナーを開催します。WEBにて参加申込受付を開始しました！

11月18日(金) 13:00～16:45 東京会場@発明会館

11月25日(金) 13:00～16:45 大阪会場@大阪科学技術センター

★機構の動き

・今週は、平成23年度技術マニュアル活用講習会【東京会場】(10月12日(水)、14日(金) 13:00～17:00@機構8F会議室)が開催されます！

・今週は、第297回技術サロン(10月13日(木)17:00～18:00@機構8F会議室)が開催されます。講師：国土交通省 水管理・国土保全局河川計画課河川情報企画室長 五道仁実氏、テーマ：「XバンドMPレーダの整備、活用について」

★Tea Break

・どうなる下水道新技術 (技術評価部 鳥海さんからの投稿です)

★みなさまからのコラム

・掲載情報募集中！

機構の新技術情報でお伝えしたい情報をお持ちの方は本コラムをご活用ください。

★国からの情報

・10月6日付け及び号外の下水道ホットインフォメーションです

10/9(日) 18:00～の「真相報道バンキシャ」(日本テレビ系列)にて、下水道国際関

係の特集が放送される予定です。

-----  
インフォメーション (最新の話です)  
-----

●11月18日(金)と25日(金)に東京と大阪会場で「下水汚泥のエネルギー化技術について」をテーマに、第55回下水道新技術セミナーを開催します。講師には京都大学大学院工学研究科の津野洋教授、国土交通省下水道部の白崎下水道技術開発官、神戸市下水道河川部の瀧村課長、鹿島建設(株)環境本部の菅野課長、当機構資源循環部の石田部長をお迎えし、ご講演いただきます。

WEBにて参加申込受付中！ → [http://www.jiwet.jp/school/school-02\\_055.htm](http://www.jiwet.jp/school/school-02_055.htm)

11月18日(金) 13:00～16:45 東京会場@発明会館

11月25日(金) 13:00～16:45 東京会場@大阪科学技術センター

-----  
機構の動き (機構の行事予定です)

◎10月12日(水)13:00～17:00

平成23年度技術マニュアル活用講習会 (東京会場、場所：機構会議室)

講習会の内容、参加申込はこちら (以下の14、21日も同じ)

→ <http://www.jiwet.jp/school/school-05-06.htm>

◎10月13日(木)17:00～18:00

第297回技術サロン (場所：機構会議室、講師：国土交通省 水管理・国土保全局河川計画課河川情報企画室長 五道仁実氏、テーマ：「XバンドMPレーダの整備、活用について」)

参加申し込みはこちら → <http://www.jiwet.jp/school/school-07-297.htm>

◎10月14日(金)13:00～17:00

平成23年度技術マニュアル活用講習会 (東京会場、場所：機構会議室)

●10月21日(金)13:00～17:00

平成23年度技術マニュアル活用講習会(大阪会場、場所：大阪科学技術センター)

●10月24日 13:30～16:30

下水道機構事業報告会@アイビーホール(東京都渋谷区)

●第55回下水道新技術セミナー【新着情報！】

11月18日(金) 13:00～16:45 東京会場@発明会館

11月25日(金) 13:00～16:45 大阪会場@大阪科学技術センター

参加申し込みはこちら → [http://www.jiwet.jp/school/school-02\\_055.htm](http://www.jiwet.jp/school/school-02_055.htm)

★10月15日(土)～19日(木) WEFTEC2011(米国ロサンゼルス)

当機構から4名が参加し、下水汚泥からのリン資源化技術開発、下水道設備の診断技術

開発、下水道管路の技術開発、浸水対策の技術開発について口頭発表（1人）、ポスター発表（3人）を行います。

★10月17日(月)18:00~20:00 バイオマス・地球環境保全勉強会(場所:日本大学大学院(市ヶ谷)) 当機構研究第一部の森田部長が出席し、「東日本大震災を教訓とした下水道の危機管理について」講演します。

---

Tea Break (機構職員の感じるまま)

---

● どうなる下水道新技術 (技術評価部 鳥海さんからの投稿です)

技術評価部の鳥海です。審査証明事業の窓口を担当して、早いもので8年が過ぎました。本事業は、民間が開発した技術を設計指針等の客観的な判断材料により、審査証明委員会に委嘱し、技術評価を行うものです。これまでに評価した新規技術は、239件に達しています。分野別に見ると建設技術、処理技術、改築修繕技術、有効利用技術等時代のニーズとともに様々です。下水道技術の祭典である「2011下水道展」も、大震災後にもかかわらず、時代を反映してか313社が出展し、入場者数は、4日間で8万人を超え盛況のうちに終わりました。下水道は今、普及の時代から維持管理、改築更新、健全経営という大変な時代を迎えています。これからの技術開発は、既存の技術の再評価や既存の下水道のあるべき論等を再検討し、先見性、優位性、新規性を有した技術の開発を行うことが大事です。関係者各位のご活躍を祈念するとともに「頑張ろう東北、頑張ろう日本」、「頑張ろう下水道！」。

---

みなさまのコラム (皆様からお寄せいただいた情報です)

---

● 掲載情報募集中！

機構の新技術情報でお伝えしたい情報をお持ちの方は本コラムをご活用ください。情報提供はこちらまで→ [jiwet@jiwet.or.jp](mailto:jiwet@jiwet.or.jp)

※原則400字以内。なお、お寄せいただいた情報はそのまま掲載することを基本としていますが、掲載の可否は当機構にて判断させていただきます。

---

下水道ホットインフォメーション (号外、国からの最新情報です)

送信元: 国土交通省都市・地域整備局下水道部下水道事業課企画専門官 石井宏幸

---

10/9(日)18:00~の「真相報道バンキシャ」(日本テレビ系列)にて、今週東京国際フォーラムにて開催された「IWA-ASPIRE」(国際水協会アジア太平洋地域会議)にちなんだ水ビジネスの特集が放送される予定です。下水道関係では、豪州へのバラスト水供給調査など官民連携国際展開をテーマとして、国土交通省下水道

部、北九州市等が取材対応しています。

「真相報道バンキシャ」HP (<http://www.ntv.co.jp/bankisha/index.html>)

---

下水道ホットインフォメーション (2011.10.6 付、国からの最新情報です)

送信元：国土交通省都市・地域整備局下水道部下水道事業課企画専門官 石井宏幸

---

今週、気仙沼市へ行ってきました。甚大な被害にも拘わらず、水産加工場の復旧が始まっています。これらの加工場排水を受け入れるための下水道の復旧も待ったなしで、気仙沼市の担当者も奮闘していました。ちなみに「お魚いちば」(気仙沼市港町)の焼サンマ定食は最高です。皆さんも是非一度お試し下さい。今週は京都府、管路管理業協会、21世紀水倶楽部から情報を頂いています。

★★★★★ 今週のラインナップ ☆☆☆☆☆

○平成24年度国土交通省関係予算概算要求概要について【下水道事業課】

●いろは呑龍トンネル北幹線第2号・第3号管渠の供用開始【京都府】

●韓国上下水道協会と技術協力協定調印【下水道管路管理業協会】

●秋の研究集会を開催します【NPO法人21世紀水倶楽部】

=====

○平成24年度国土交通省関係予算概算要求概要について【下水道事業課】

平成24年度国土交通省関係予算概算要求概要が、9月30日に公表されました。

社会資本整備総合交付金については、約1.8兆円(対前年度比1.05)を要求します。このうち「日本再生重点化措置」は、261,499百万円です。また、上記のほか東日本大震災からの復旧・復興対策に係る経費があります。

下水道に係る新規要求事項としては、「震災復興下水道未利用エネルギー活用事業の創設」、「下水道総合地震対策事業の拡充」(ともに社会資本整備総合交付金対象事業)、行政経費の「民間活用のための下水道先端的管理手法実証事業に関する調査(国費：20百万円)」があり、日本再生重点化措置として、「民間活力による創エネルギー対策(下水道革新的技術実証事業、国費：約33億円)」を要望します。

・震災復興下水道未利用エネルギー活用事業の創設

東日本大震災において被災をした下水処理場等の災害復旧にあわせて実施する小水力発電・太陽光発電等の創エネルギー対策施設の整備を支援する制度を創設する。

- ・下水道総合地震対策事業の拡充

ターミナル駅周辺などの都市機能集積地区内の道路に埋設されているマンホールの浮上防止対策等及び下水道施設の応急復旧のための可搬式ポンプ・可搬式非常用発電施設等の整備を支援するため、下水道総合地震対策事業を拡充する。

- ・民間活用のための下水道先端的管理手法実証事業に関する調査

下水道施設の老朽化に伴う課題に対応するため、効率的な新技術の有効性・経済性の検証等を実施し、管路における点検調査・診断、修繕を組み合わせた効率的・先端的管理手法を確立することにより民間活力の促進を図る。

- ・民間活力による創エネルギー対策（下水道革新的技術実証事業）

下水汚泥のエネルギー利用、下水熱利用、下水処理に係る革新的技術について、国が主体となって、実規模レベルのプラントを設置して、技術的な検証を行い、ガイドラインをとりまとめ、民間企業のノウハウ、資金を活用しつつ、全国の下水道施設への導入促進を図る。

資料については、下記 URL をご覧ください。

[http://www.mlit.go.jp/page/kanbo05\\_hy\\_000132.html](http://www.mlit.go.jp/page/kanbo05_hy_000132.html)

- いろは呑龍トンネル北幹線第2号・第3号管渠の供用開始【京都府】

京都府では、桂川右岸地域の浸水被害を解消するため、平成7年度から雨水対策事業としていろは呑龍トンネル（雨水貯留管）の整備を進めています。上流部の北幹線第1号管渠（φ8.5m、L=935m）を平成13年度に供用していますが、このたび10月11日に北幹線第2号（φ3.0m、L=2,864m）・第3号（φ6.1m、L=1,120m）を供用開始します。この供用により、貯留量が54,000m<sup>3</sup>から107,000m<sup>3</sup>に増え、更に広い範囲で浸水被害が軽減されます。

なお、10月1日には第2号・第3号管渠内を歩ける見学の機会としてウォーキングフェスタを開催したところであり、10月11日には洛西浄化センターにて供用開始式典を行います。

- ・いろは呑龍トンネルの紹介 <http://www.pref.kyoto.jp/gesuido/16400045.html>

- ・ウォーキングフェスタの記事

<http://www.kyoto-np.co.jp/rakusai/article/20111002000035>

- ・供用開始式典

<http://www.pref.kyoto.jp/koho/kaiken/kaiken2011/resources/110913-koumoku02.pdf>

- 韓国上下水道協会と技術協力協定調印【下水道管路管理業協会】

公益社団法人日本下水道管路管理業協会と韓国上下水道協会は包括的な技術協力の協定についての調印を10月3日に行いました。

韓国では、管路のテレビカメラ調査の結果の記録保存にもクラウド・コンピューティングが既に用いられ、韓国上下水道協会がそのクラウドサービスのプロバイダーとなっています。協定の主な内容は以下の通りです。

#### 1. 技術情報の交換

それぞれが発行する下水道管路管理に関する出版物、報告書等について定期的に交換を行うなどです。

#### 2. 技術と経験の交換

下水道管路管理に関する技術の交換でセミナー、ワークショップ、研修等を行うにあたって相手側への参加の要請を行った場合には積極的に協力するよう努め技術協力を行うものです。また下水道管路管理に関する最新技術（クラウド・コンピューティング等）の発展について相互に協力するものです。そのほか下水道管路管理に関する資格や研修の発展について相互の経験を交換し協力することも含まれています。

#### 3. 専門家の交流

下水道管路管理技術に関して相互の合意に基づき専門家の招聘または派遣を行うものです。

#### 4. 相互の研修協力

下水道管路管理技術に関してそれぞれの会員に対する研修をそれぞれの研修プランに基づき行うに際して必要な支援を行うものです。

### ●秋の研究集会を開催します【NPO 法人 21 世紀水倶楽部】

テーマ：「下水道による窒素除去と地球環境保全」

日時：平成 23 年 11 月 15 日（火）午後 2 時より 5 時

場所：(財)下水道新技術推進機構 8 F 会議室

定員：50 名（申込み先着順）

プログラム：

下水の窒素除去とエネルギー消費および温室効果ガス発生率

（国総研 下水処理研究室長 小越真佐司氏）

下水処理場における N<sub>2</sub>O の発生特性と制御に関する考察

（秋田高専 環境都市工学科助教 増田周平先生）

総合討議

（コメンテーター 東京大学工学系研究科教授 花木啓祐先生）

申込み方法：21 世紀水倶楽部 HP の申込みフォームより（締め切り：11/4）

<http://www.21water.jp/j-sched.htm>

=====

【参考情報】

◆廃棄物から肥料やバイオガス <9/30 東日新聞>

<http://www.tonichi.net/news.php?mode=view&id=37762&categoryid=1>

◆汚染土砂貯蔵施設本県も 群馬 <9/30 読売新聞>

<http://www.yomiuri.co.jp/e-japan/gunma/news/20110929-OYT8T01573.htm>

◆水道工事埋め戻し 市、1億7700万円の出費 下水汚泥焼却灰含む 神奈川  
<9/30 東京新聞>

<http://www.tokyo-np.co.jp/article/kanagawa/20110930/CK2011093002000021.html>

◆汚泥焼却灰、最終処分場確保を 横浜市長が国へ要望書 /神奈川 <10/1 毎日新聞>

<http://mainichi.jp/area/kanagawa/news/20111001ddlk14040336000c.html>

◆県下水処理場、建屋設置し汚染焼却灰を保管へ /神奈川 <10/1 毎日新聞>

<http://mainichi.jp/area/kanagawa/news/20111001ddlk14040285000c.html>

◆放射性物質対策 手賀沼の下水処理場、苦渋の選択 /千葉 <10/2 毎日新聞>

<http://mainichi.jp/area/chiba/news/20111002ddlk12040099000c.html>

◆神戸市「環境未来都市」立候補 バイオガスなど独自構想提出 <10/4 MSN 産経ニュース>

<http://sankei.jp.msn.com/region/news/111004/hyg11100402180000-n1.htm>

◆北九州市：水ビジネスで事務所を開設 官民連携強化し海外へ /福岡 <10/4 毎日新聞>

<http://mainichi.jp/area/fukuoka/news/20111004ddlk40010382000c.html>

◆多度津の再生水利用事例に注目集まる /東京 <10/6 四国新聞>

[http://www.shikoku-np.co.jp/kagawa\\_news/locality/20111006000138](http://www.shikoku-np.co.jp/kagawa_news/locality/20111006000138)

◆下水道事業の手引 平成23年版 好評発売中

[http://www.suido-gesuido.co.jp/blog/info/2011/06/post\\_34.html](http://www.suido-gesuido.co.jp/blog/info/2011/06/post_34.html)

～ 以上、国からの下水道ホットインフォメーションより～



発行元：財団法人 下水道新技術推進機構 企画部

〒162-0811 東京都新宿区水道町3番1号 水道町ビル7F

TEL 03-5228-6511(代表) FAX 03-5228-6512

ホームページ：<http://www.jiwet.or.jp/>

○お伝えしたい情報をお持ちの方は

こちらから→ [jiwet@jiwet.or.jp](mailto:jiwet@jiwet.or.jp)

○メルマガ配信登録についてのお問い合わせは

こちらから→ [jiwet@jiwet.or.jp](mailto:jiwet@jiwet.or.jp)

